

Press release

2008 年半期決算報告書

2008 年 8 月 26 日公表

- 根元的 EBITDA*は過去最高の 114.08 億ドルとなり、前年同期比で 73%増加しました。
- 根元的当期純利益*は過去最高の 54.74 億ドルとなり、前年同期比で 55%増加しました。
- 当期純利益*は過去最高の 69.14 億ドルとなり、前年同期比で 113%増加しました。
- 事業活動によるキャッシュフローは過去最高の 88.6 億ドルとなり、前年同期比で 54%増加しました。これは毎月約 15 億ドルのキャッシュフローを生み出している計算になります。
- 鉄鉱石、ボーキサイト、アルミナ、アルミニウム、ホウ酸塩、酸化チタン原材料、及び一般炭の半期における生産量は、過去最高を達成できました。（同品種での比較）
- 設備投資は過去最高の 37 億ドルとなり、前年同期比で 91%増加しました。これは成長プロジェクトの価値を高めるものに投資したものです。
- 豪州、ブラジル、及びカナダにおける鉄鉱石の操業の重大な拡張を含んだ、60 億ドルを超える（100%ベース）新しいキャピタルコミットメントが、今年新たに発表されました。
- Rio Tinto Alcan の統合は順調に進んでおり、2009 年末から年間税引後で 11 億ドルのシナジー効果を出していくめどが立っています。
- 一株あたりの中間配当額は 31 セント増の 68 セントとなり、2008 年と 2009 年にそれぞれ最低でも 20%は増配するという公約に変わりはありません。
- 資産売却プログラムは順調に進んでおり、現時点で 30 億ドルの売却を発表しています。リオティントは 2008 年に 100 億ドルの資産売却額を発表できる見込みです。

6 月 30 日時点の 6 ヶ月累計

(記載されている場合を除き、ドルは全て億米ドル)	2008	2007	増減率
根元的 EBITDA*	114.08	66.13	+73%
根元的当期純利益*	54.74	35.29	+55%
当期純利益*	69.14	32.53	+113%
事業活動によるキャッシュフロー			
(持分会社適用会社の配当金含む)	88.6	57.39	+54%
一株あたりの根元的利益 (米セント)	426.5	272.6	+56%
一株あたりの当期純利益 (米セント)	538.7	251.3	+114%
一株あたりの通常中間配当金 (米セント)	68.0	52.0	+31%

*当期純利益及び根元的当期純利益は、リオティントの株主持分に応じた利益を反映しています。また根元的当期純利益(Underlying Earnings)の意義及び当期純利益との調整については、**27 ページ**に記載されています。根元的 EBITDA は、根元的当期純利益と同じ項目が除外されています。

会長のコメント

非常に優れた業績を出すことができました。上半期の根元的当期純利益は 55 億ドルとなり、前年同期比で 55%増加できたことは、リオティントの高品質な商品ポートフォリオ、既存のマーケット、操業、及び経営が順調であることを示したものです。リオティントグループは、引き続き堅調に操業していきます。また、引き続き明るい市場の見通を持っています。

アルミニウムの世界的なリーダーを創出するという戦略的な動きを支える投資の命題に沿った形で、2007 年の Alcan 買収による恩恵が引き続き明らかになっています。Rio Tinto Alcan の確保され、水力をベースとした大規模な電力供給源は、中国をはじめ世界においてエネルギー不足が明らかになる中で、非常に大きな競争面での優位性だと言えます。

我々は成長プロジェクトのパイプラインを強化するため継続して開発を行っており、これは重大な競争優位性を与えてくれるものです。鉄鉱石の操業に関しては、西豪州の Pilbara 地域における更なる拡張及びブラジルとカナダにおける拡張の実施について今年発表しました。また、米国のアリゾナにおける銅プロジェクトである Resolution における、予備事業化調査(pre-feasibility study)を行うための資金調達についても今年発表しました。資源分野におけるその他多くの会社と異なり、我々は、既存のベースから大きく成長する能力があり、10 年以上先においても株主へ価値を与え続けることができると自負しています。

世界的な金融引締めにより、世界における経済成長率に若干の減速感が見られたものの、我々のマーケットに与える影響は少ないものでした。中国やインドといった人口が非常に多く、経済が継続して発展している国の都市化や工業化が、我々の商品需要の原動力となっています。我々の商品価格は過去と比較すると依然として高い状況にあります。株式市場は現在、マイナス面のリスクに焦点が当たっていますが、我々は、継続的な商品需要の強さ、在庫水準の低さ、及び供給側が直面している様々な制約に基づく上昇傾向によって相殺される可能性があると考えています。

我々は(米ドルで示された)前年の配当金合計の半分を中間配当として支給するという方針に従い、2008 年の中間配当を 31%増加しました。我々は、2008 年及び 2009 年においてそれぞれ最低でも 20%以上、年度の配当を増額させることを公約しました。

BHP Billiton によるリオティントの全株式取得という条件付提案(Preconditional-offer)は、EU 競争当局により見直しされており、現状は第 2 フェーズにあります。我々の取締役会はこの提案が、会社およびその将来性を過小評価している観点から却下しており、我々は EU 及びその他重要な法律上の見直しの結果を待っています。リオティントグループの上半期業績に加えその成長ポテンシャルは、リオティントが単独でも十分に株主へ価値を提案していけるという取締役会の考えを支えてくれます。

ポールスキナー リオティント会長

最高経営責任者のコメント

リオティントの 2008 年上半期の業績は、それ自体が過去最高の数値であった前年同期を大幅に凌ぎました。我々が生きているこの時代は、今までに前例のない鉱物と金属の需要があることについて疑問の余地もなく、我々はこの急激な需要増及び供給側の困難な状況は続くと考えています。

このような環境下においては、寿命が長い資源埋蔵量や資源量を持つことが非常に重要となり、リオティントはこの点、特に優れています。需要や価格が堅調であるときは、成長オプションは特に価値があり、我々はそれらを豊富に持っています。

リオティントグループの上半期鉄鉱石生産量は、過去最高の 7,900 万トン(リオティント持分ベース)となりこれは、設備投資計画がよい結果をあげたためです。それ以外でも上半期で過去最高となったものは、ボーキサイト、アルミナ、アルミニウム、ホウ酸塩、酸化チタン原材料、及び一般炭です。(同品種での比較)

私は引き続きリオティントグループ全体で、卓越した操業を活発化していくことを決意しました。安全性に関しては一番の優先事項であり、今年の上半期においては休業災害発生頻度(LTIFR)に改善が見られました。

2007年に我々が取得した Alcan の資産統合は、引き続き順調に進んでいます。2009 年末から年間税引後 11 億ドルのシナジー効果を出していくめどが立っており、当初の 6 億ドルよりもかなり高くなりました。我々は今では、よりこの会社のことが見えてきており、Alcan の資産及び従業員の質に対して大きな喜びを感じています。

我々は傑出したボーキサイトの埋蔵量、競争力あるアルミナ精製のポジション、持続可能な水力発電、及び産業をリードする製錬技術を持った、アルミニウム産業におけるリーダーを作り上げました。我々は豪州の Weipa におけるボーキサイトの生産量を倍にするため検討中であり、またアルミナ精製能力を拡張中であり、更にカナダや世界各国で多くの魅力的な製錬能力拡張の可能性を調査しています。オマーンにある Sohar 製錬所プロジェクトは、予定と予算の通りに、最近完了しました。

6月にリオティントグループは、豪州産の鉄鉱石の加重平均価格を 86%増で発表しました。この値上げは旺盛な需要と Pilbara 鉄鉱石のプレミアム評価を反映したものでした。リオティントは豪州の年間生産能力を、2008年の終わりに 2.2 億トン*、2013年に 3.2 億トン*、構想として 4.2 億トン*にするという明確な拡大の施策を持っています。これは、我々の卓越した資源的地位と拡張可能な港湾・鉄道設備を保有するという有利性に基きます。

カナダ、ブラジル、及びギニアでの成長も含めた、全世界の鉄鉱石生産についてリオティントは、年間 6 億トン以上まで増加させる計画を持っています。なお、これまではギニアの Simandou プロジェクトに関するリオティントの鉱区権について意義を問われましたが、我々の法的所有権は明確であると信じており、我々と我々のパートナーである International Finance Corporation (世界銀行グループ)と一緒に、ギニアの当局と状況を明らかにすべく取り組んでいます。関係者全ての利点を考えると、リオティントよりもプロジェクトを上手に遂行できる会社はいないと自負しています。

銅事業に関しては、Kennecott Utah Copper において 6.28 億トンの資源量の追加が発表され、米国の Resolution において 10 億トン以上の大きな資源量があること、及びペルーの La Granja における 28 億トンの資源量について、発表いたしました。(詳細については、2008年5月16日及び29日の弊社プレスリリースをご確認下さい。) モンゴルにおいては、非常に重要な Oyu Tolgoi の銅/金鉱床の開発に関して、新しい政府との話し合いが順調に進んでいます。この重要な資産は、次世代の銅鉱山の一部を担うもので、急増している銅の需要に対応するため必要となります。

我々は産業内におけるコスト上昇に対して、間接費の削減や革新的な技術による解決を通して引き続き対応していきます。我々は上半期に、遠隔操作センター及び運転手不要なトラック・列車が設置された鉱山、「Mine of the Future」の計画について明らかにしました。この計画の一部として、我々は Pilbara にある鉄鉱石の事業で利用している 1,300km の鉄道自動化のために、3.71 億ドル (リオティント持分 3.5 億ドル) の投資を発表しました。これにより、5年以内に運転手不要な列車が出てくることになるかと信じています。

上半期においては我々の資産売却プログラムの目標額は維持され、リオティントは今年 100 億ドルの資産売却額を発表できる見込みです。我々がこれまでに売却してきた資産については、高い値段で売却することができました。これらの資産売却と我々の根本的に優れた事業活動によるキャッシュフローによる収入は、毎月 15 億ドルの割合となっており、着実に貸借対照表が強化されています。

リオティントは優れた状態にあり、より強大となっています。私の個人的なコミットメントは、可能な限り株主価値の最大化を提供するための事業を遂行させることで、これは優れた資産、成長オプション、及び従業員によって達成することができます。

*100%ベースです。リオティントにおける 3.2 億トンや 4.2 億トンの鉄鉱石生産量の 80~85%は、Pilbara における操業分となります。

トムアルパニーズ リオティント最高経営責任者

リオティントは、根元的な事業活動の中身を把握できるようにする為、根元的当期純利益を開示しています。当期純利益と根元的当期純利益の違いは、下図の通りとなります。Underlying は、文中根元的と訳しました。

6月30日までの6ヶ月間	2008年	億ドル 2007年
根元的当期純利益	54.74	35.29
<i>根元的当期純利益の除外項目</i>		
権益売却益	14.82	-
減損戻し-繰入額	(0.03)	(3.14)
為替影響及び金融派生商品	0.81	0.25
その他 (Alcan 買収による影響額を含む)	(1.20)	0.13
当期純利益	69.14	32.53

	根元的当期純利益	億ドル 当期純利益
2007年上半期	35.29	32.53
商品価格	27.90	
為替レート	(2.53)	
販売数量	6.16	
インフレ (通常)	(1.18)	
エネルギーコスト	(1.32)	
その他キャッシュコスト	(3.78)	
探鉱・評価コスト	(2.19)	
金利/税金/その他	(3.61)	
小計	19.45	19.45
権益売却益		14.82
減損戻し-繰入額		3.11
為替影響及び金融派生商品		0.56
その他 (Alcan 買収による影響額を含む)		(1.33)
2008年上半期	54.74	69.14

商品価格

全ての主要商品の価格変動による影響は、根元的当期純利益を 27.90 億ドル押し上げました。リオティントグループの数多くの主要商品の価格は、上半期に過去最高水準に達しました。銅の平均価格は 20% 上昇し、2008 年 4 月 1 日より有効となる鉄鉱石ベンチマーク価格交渉は、過去最高のレベルで決着いたしました。主要顧客との合意により、塊鉱に関しては 96.5% 上昇、粉鉱に関しては 79.88% 上昇し、加重平均で 85.7% の値上げとなりました。一般炭及び原料炭の輸出マーケットについても、強い需要及び供給の逼迫を反映して好調でした。モリブデンの価格は、2008 年上半期を通じて平均的に \$34/lbs でした。これは、前年同期比で 21% 増です。

為替レート

2008 年上半期において、リオティントの大半のコストを負担しているドル通貨に関する動きが大幅にありました。豪州ドルは 14% 上昇し、カナダドルは 13% 上昇し、ユーロは 15% 上昇しました。これらの通貨価値の変動は、2007 年上半期の根元的当期純利益と比較して、2.53 億ドル押し下げる影響を与えました。

販売数量

特に鉄鉱石の拡張プロジェクト及び Alcan の 6 ヶ月分をフルに参入したことにより、販売数量が増加し、前年同期比で 6.16 億ドル利益に貢献しました。これらの恩恵は、主に Kennecott Utah Copper における採鉱品位の低下により、銅事業部全体で銅、金、及びモリブデンの生産量が減少したことで、一部減殺されました。

コスト

リオティントは事業の将来の発展のために更なる投資を引き続き行っていますが、そのために探鉱、評価、及び技術のコストが、根元的当期純利益に対する費用として対前年で 2.19 億ドル増えました。エネルギーコストの上昇は、根元的当期純利益を 1.32 億ドル減少させました。リオティントグループ全体で、運賃、請負業者、メンテナンス、及び添加剤に関するコスト増が発生しました。その中でも特に、産業内における供給制約が続いた、エネルギーと鉱物、及び、銅とダイヤモンドの商品事業部が影響を受けました。

金利/税金/その他

持分会計適用会社を除く、根元的当期純利益に対する実行税率は、2007 年上半期の 32% に対し、30% となりました。

リオティントグループにおける金利負担は、2007 年上半期と比較して 4.87 億ドル上昇しました。主にこれは、Alcan 買収に伴う純有利子負債の増加に伴うものです。

根元的当期純利益の除外項目

既に発表された資産売却プログラムの中身としては、2008 年 3 月 15 日に売却した Cortez Gold 鉱山（リオティント持分 40%）、2008 年 4 月 16 日に売却した Greens Creek 銀 / 亜鉛 / 鉛 鉱山（リオティント持分 70.3%）があります。加えて、2008 年 1 月 31 日に Tarong Coal 鉱山を売却しました。これらの権益の売却による利益は、根元的当期純利益から除外されています。

キャッシュフロー

持分会計適用会社からの配当金を含む、事業活動によるキャッシュフローは、過去最高の 88.6 億ドルで、前年同期比で 54% 増加しました。

リオティントグループは、主に拡張プロジェクトに重点をおいた過去最高水準の投資を行いました。2008 年の土地、工場、設備の有形固定資産及び無形固定資産の支出は、36.52 億ドルとなり、前年同期比で 17.36 億ドル増加しました。これは、西豪州の Cape Lambert 港及び Hope Downs 鉱山の拡張、Queensland における Yarwun アルミナ精製所の拡張及び Clermont 一般炭鉱山の建設、Diavik ダイヤモンド鉱山 A418 岩脈、及びマダガスカルのイルメネイト鉱山を含みます。

2008年上半期において支払われた配当金は10.83億ドルで、前年同期比で2.46億ドル増加しました。これは2007年の最終配当金よりも31%増額です。株式買い戻しプログラムは、2007年7月12日のAlcanの買収発表以降、行っておりません。2007年上半期にRio Tinto plc株を株式市場より買い戻すことによる株主へのリターンは、14.17億ドルとなりました。（うち、0.11ドル分はオプション行使によるもの）

貸借対照表

リオティントは、Alcan保有資産の時価評価について、専門家の助言を受けはじめました。国際財務報告基準(IFRS)の要求に基づき、獲得した事業の有形及び無形資産は時価評価で表示されます。Alcan買収の取得価格から、特定資産や負債の時価評価額を差し引いた残余金額は、営業権として計上されました。IFRS3条の会計基準で認められているように、買収から12ヶ月以内に訂正することを条件に、2007年の財務諸表には暫定の価値が組み込まれています。

この6ヶ月で純有利子負債は30億ドル減少し、421億ドルとなりました。これは主として、資産売却による現金受取の分です。2008年6月30日の時点では、負債総資本比率は56%まで減少し、利息負担倍率は11倍となりました。

当期利益

IFRSは損益計算書の当期利益に、子会社の外部株主に帰属する収益分も含めて報告することを要求しています。2008年上半期は、当期利益が72.91億ドルで（2007年上半期は、34.01億ドル）その内3.77億ドル（2007年上半期は、1.48億ドル）が、外部株主に帰属する分で残りの69.14億ドル（2007年は、32.53億ドル）がリオティントの株主に帰属する純利益の部分です。当期純利益及び根元的当期純利益は、この報告書の焦点となる部分であり、これらはリオティント株主帰属分の金額となります。

配当金

リオティントは進歩的な配当金についての方針を採っており、何十年にもわたり配当金の増加が続いてきているという記録を有しています。配当金は米ドルで決められています。中間配当金は、特別配当金を除いた、前年の合計配当額の半分を支給するという方針です。よって、中間配当金は一株当たり68セントとなり、（2007年中間配当額：一株あたり52セント）Rio Tinto plc及びRio Tinto Ltd.により発表されました。

2008年の中間配当金は、米ドルベースで前年の中間配当額よりも31%の増加となっています。2008年及び2009年の配当金は、それぞれ最低でも20%以上増加することが既に発表されています。

Rio Tinto plcの株主には、普通株一株当たり36.25ペンスの（2007年は一株当たり25.59）中間配当金が支払われることとなります。Rio Tinto Limitedの株主には、普通株一株当たり77.35豪州セントの（2007年は一株当たり60.69豪州セント）中間配当金が、法人税完納後に支払われます。取締役会はRio Tinto Limitedが合理的に予想できる将来にわたり、法人税完納後配当金を支払できる立場にあることを期待しています。

リオティントの配当金は米ドルで公表され、2008年8月21日の為替レートで換算され、英貨ポンドや豪州ドルにて支払われます。

普通株を保有している株主にはそれぞれ、2008年10月2日（木）に支払われ、ADR（American Depository Receipt：米国預託証券）保有の株主は、2008年10月3日（金）に支払われます。Rio Tinto plc及びADR保有の株主は、2008年9月5日（金）の営業終了時点で株主名義に登録されている方で、Rio Tinto Limitedの株主は、2008年9月9日（火）の営業終了時点で株主名簿に登録されている方に対して支払われます。配当落ちの日程は、Rio Tinto plc、Rio Tinto Limited、及びADR保有株主ともに、2008年9月3日（水）です。

通常通り、リオティントは配当金再投資プランを行います。詳細は、秘書室にお問い合わせ頂くか、リオティントのホームページを参照してください。配当金再投資プランに関する抽選結果の連絡は、2008年9月11日（木）が最終日です。

リオティント ビジネスユニット別財務情報

6月30日までの6ヶ月間 億米ドル	リオ 持分 %	総売上高 (a)		EBITDA (b)		当期純利益 (c)	
		2008	2007	2008	2007	2008	2007
鉄鉱石							
Hamersley (含 Hismelt®) (d)	100.0%	55.95	25.64	33.81	13.98	22.39	8.61
Robe River (e)	53.0%	13.30	7.61	9.22	4.60	4.88	2.33
Iron Ore Company of Canada	58.7%	10.48	3.79	5.88	1.03	2.05	0.28
Rio Tinto Brasil	100.0%	0.69	0.32	0.17	0.02	0.06	(0.01)
商品事業部計		80.42	37.36	49.08	19.63	29.38	11.21
評価プロジェクト/その他		0.44	0.44	(0.48)	(0.22)	(0.61)	(0.22)
合計		80.86	37.80	48.60	19.41	28.77	10.99
アルミニウム							
商品事業部計	(f)	125.44	17.49	25.64	7.39	10.36	4.06
評価プロジェクト/その他		0.18	0.17	(0.45)	-	(0.41)	-
合計		125.62	17.66	25.19	7.39	9.95	4.06
銅&ダイヤモンド							
Kennecott Utah Copper	100.0%	16.06	17.36	10.83	12.67	6.73	7.85
Escondida	30.0%	19.46	16.55	15.25	13.64	9.12	8.35
Grasberg joint venture	(g)	1.20	1.83	0.64	1.27	0.30	0.63
Palabora	57.7%	3.10	3.52	1.16	1.16	0.34	0.32
Kennecott Minerals	100.0%	0.76	1.71	0.46	0.93	0.25	0.56
Northparkes	80.0%	0.76	2.27	0.35	1.48	0.20	0.93
ダイヤモンド	(h)	5.71	4.45	2.39	2.28	1.08	0.90
商品事業部計		47.05	47.69	31.08	33.43	18.02	19.54
評価プロジェクト/その他		-	-	(1.57)	(0.75)	(1.09)	(0.49)
合計		47.05	47.69	29.51	32.68	16.93	19.05
エネルギー&鉱産物							
Rio Tinto Energy America	100.0%	8.52	7.27	1.72	1.39	0.65	0.46
Rio Tinto Coal Australia	(i)	17.75	11.27	7.31	3.06	4.01	1.77
Rössing	68.6%	1.98	2.15	1.31	1.10	0.51	0.44
Energy Resources of Australia	68.4%	1.49	0.92	0.73	0.25	0.22	0.02
Rio Tinto Iron & Titanium	(j)	8.89	7.83	3.10	2.47	1.12	0.79
Rio Tinto Minerals	(k)	7.36	5.95	1.24	1.28	0.57	0.60
商品事業部計		45.99	35.39	15.41	9.55	7.08	4.08
評価プロジェクト/その他		0.50	0.50	(0.31)	(0.50)	(0.29)	(0.38)
合計		46.49	35.89	15.10	9.05	6.79	3.70
その他事業		0.08	0.29	(0.73)	(0.06)	(0.39)	(0.04)
その他項目		(0.05)	(0.03)	(2.92)	(2.89)	(1.70)	(2.60)
探鉱及び評価				(0.67)	0.55	(0.62)	0.25
金利				-		(4.99)	(0.12)
根元的当期純利益				114.08	66.13	54.74	35.29
根元的当期純利益の除外項目				20.82	0.10	14.40	(2.76)
合計		300.05	139.30	134.90	66.23	69.14	32.53
子会社の減価償却費及びアモチゼーション				(17.85)	(8.65)		
減損戻し-繰入額				(0.06)	(4.49)		
持分会計適用会社の減価償却費及びアモチゼーション				(2.28)	(1.40)		
持分会計適用会社の税金額及び財務活動				(7.20)	(5.07)		
財務活動及び税金考慮前の通常営業活動に基づく純利益				107.51	46.62		

上記の注記に関しては、英文 39 ページをご参照下さい。

リオティント ビジネスユニット別財務情報 (続き)

6月30日までの6ヶ月間 億米ドル	リオ 持分 %	設備投資 (l)		減価償却費及び アモチゼーション		営業資産 (m)	
		2008	2007	2008	2007	2008	2007
鉄鉱石							
Hamersley (含 Hlsmelt®) (d)	100.0%	7.88	8.54	2.30	1.53	74.87	55.30
Robe River (e)	53.0%	2.90	0.73	0.61	0.49	23.84	18.05
Iron Ore Company of Canada	58.7%	0.80	0.36	0.42	0.34	7.22	7.55
Rio Tinto Brasil	100.0%	0.64	0.10	0.06	0.03	2.04	1.12
その他		0.28	-	0.03	-	0.31	-
合計		12.50	9.73	3.42	2.39	108.28	82.02
アルミニウム	(e)	10.93	1.20	10.72	1.46	446.47	38.66
銅&ダイヤモンド							
Kennecott Utah Copper	100.0%	1.62	0.86	1.21	1.26	17.49	16.56
Escondida	30.0%	0.63	0.87	0.48	0.50	12.37	11.02
Grasberg joint venture	(g)	0.29	0.26	0.12	0.19	3.89	3.59
Palabora	57.7%	0.17	0.09	0.30	0.19	(0.09)	0.55
Kennecott Minerals	100.0%	0.33	0.39	0.04	0.12	(3.64)	2.33
Northparkes	80.0%	0.41	0.22	0.07	0.15	2.62	2.15
ダイヤモンド	(h)	3.62	2.32	0.72	0.81	14.34	9.86
その他		0.01	0.13	-	-	7.00	5.66
合計		7.08	5.14	2.94	3.22	53.98	51.72
エネルギー&鉱産物							
Rio Tinto Energy America	100.0%	0.83	1.04	0.64	0.63	11.73	11.39
Rio Tinto Coal Australia	(i)	1.97	0.85	0.83	0.85	19.46	15.92
Rössing	68.6%	0.26	0.17	0.09	0.05	1.79	0.19
Energy Resources of Australia	68.4%	0.87	0.17	0.23	0.22	3.53	1.92
Rio Tinto Iron & Titanium	(j)	2.41	1.88	0.61	0.57	21.54	16.19
Rio Tinto Minerals	(k)	0.29	(0.05)	0.37	0.46	11.49	11.29
その他		0.01	-	(0.03)	-	0.63	0.25
合計		6.64	4.06	2.74	2.78	70.17	57.15
その他事業		1.1	0.07	-	-	4.13	2.14
売却予定純資産		-	-	-	-	46.06	-
その他		0.45	0.41	0.31	0.20	9.35	3.24
差引：持分会社適用会社		(2.18)	(1.45)	(2.28)	(1.40)	-	-
合計		36.52	19.16	17.85	8.65	738.44	234.93
差引：純有利子負債						(421.24)	(28.62)
合計 リオティント株主持分						317.20	206.31

上記の注記に関しては、英文 39 ページをご参照下さい。

事業内容説明

根元的当期純利益の比較

2008年上半期の根元的当期純利益は54.74億ドルとなり、2007年上半期と比較して19.45億ドル増加しました。商品事業部別の分類は、下図の通りで金額の記載がない限り全て億米ドルです。（英文上、百万米ドル単位）

	億ドル
2007年上半期 根元的当期純利益	35.29
鉄鉱石	18.17
アルミニウム	6.30
銅及びダイヤモンド	(1.52)
エネルギー及び産業用鉱産物	3.00
商品事業部評価プロジェクト/その他	(1.31)
その他の操業	(0.35)
探鉱、評価及び技術	(0.87)
金利	(4.87)
その他	0.90
2008年上半期 根元的当期純利益	54.74

*各ビジネスユニットに表示されている金額は、全て根元的当期純利益です。生産量は、リオティントの持分を示しています。

鉄鉱石

	億ドル			
	2008 上	2007 上	前年差	2007 年
生産量（百万トン-リオティント持分）	79.2	69.4	+14%	144.7
総売上（以下全て億ドル）	80.86	37.80	+114%	89.24
商品事業部操業利益（税引後）	29.38	11.21	+162%	27.46
評価プロジェクト/その他（税引後）	(0.61)	(0.22)	+177%	(0.95)
EBITDA	48.60	19.41	+150%	46.17
設備投資	12.50	9.73	+28%	20.65

市況

リオティントは2008年度の鉄鉱石ベンチマーク価格交渉を、過去最高のレベルで決着いたしました。主要顧客との合意により、塊鉄に関しては96.5%上昇、粉鉄に関しては79.88%上昇し、加重平均で85.7%の値上げとなりました。需要は引き続き堅調です。

Hamersley

2008年上半期の根元的当期純利益は、22.39億ドルとなり、2007年上半期と比較して13.78億ドル増加しました。これは、ベンチマーク価格の上昇及び販売数量とスポット売上の増加が寄与したものです。2008年上半期においては、鉱山、港湾、及び鉄道の拡張の第2フェーズが完了したことにより、Hamersleyでは過去最高の船積みと生産量を達成することができました。上半期はHope Downsで450万トン（100%ベース）生産し、2009年上半期達成目標である、年間合計能力3,000万トンに、徐々に近づいています。

Hamersley の 2008 年上半期の根元的当期純利益には、Hismelt の純損失 0.31 億ドル（2007 年上半期の純損失は 0.24 億ドル）を含んでいます。溶融還元プラントの能力は引き続き、徐々に増加しています。第 1 四半期における大規模なメンテナンスにより、操業の安定性が改善しホットメタルの生産量が、第 2 四半期に過去最高水準となりました。

Robe River

販売価格、販売数量、スポット売上、及びより好ましい販売ポートフォリオミックスにより、2008 年上半期の根元的当期純利益は 4.88 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 2.55 億ドル上昇しました。

Iron Ore Company of Canada

2008 年上半期の根元的当期純利益は 2.05 億ドルとなり、2007 年の上半期と比較して 1.77 億ドル増加しました。これは、販売価格の上昇、数量の増加、あとは 2007 年上半期に 7 週間続いた第 1 四半期におけるストライキです。

Rio Tinto Brasil

Corumbá 鉱山における生産増により、損失が若干発生した 2007 年上半期と比べて 2008 年上半期は 6 百万ドルの利益が発生しました。

鉄鉱石プロジェクト

ギニアの Simandou プロジェクトへの支出は、予備事業化調査(pre-feasibility study)が進むにつれ加速しました。このプロジェクトは、2009 年の終わりに投資の意思決定が行われることが期待されています。Simandou において 22.5 億トンの鉄鉱石の資源量があるとリオティントは 2008 年上半期に発表しました。（2008 年 5 月 29 日及び 2008 年 8 月 1 日のプレスリリースに詳細が記載されています。）

Rio Tinto Alcan

	億ドル			
	2008 上	2007 上	前年差	2007 年
	想定比較ベース ¹ (対前年)			
生産量 (千トン-リオティント持分)				
ボーキサイト	17,324	15,063	+15%	31,960
アルミナ	4,486	4,095	+10%	8,515
アルミニウム	2,039	2,012 ²	+1%	4,057 ²

¹ 2007 年 1 月からの Alcan データを含む。

² 2007 年上半期に売却した Vlissingen 製錬所（オランダ）を除きます。2008 年第 1 四半期に、Lannemezan 製錬所（フランス）は閉鎖しました。想定比較ベースとするため、2007 年 4 月 1 日より生産量を除いています。

	総売上高		EBITDA		億米ドル 当期純利益	
	上半期		上半期		上半期	
	2008	2007	2008	2007	2008	2007
	想定比較ベース		想定比較ベース		想定比較ベース	
ボーキサイト&アルミナ	19.33	17.62	3.80	6.33	0.88	2.90
一次金属	65.53	61.46	18.94	21.75	8.63	10.98
その他	40.58	43.62	2.90	3.78	0.85	1.87
商品事業部計	125.44	122.70	25.64	31.86	10.36	15.75
評価プロジェクト/その他	0.18	0.17	(0.45)	(0.27)	(0.41)	(0.19)
合計	125.62	122.87	25.19	31.59	9.95	15.56
差引:)想定比較ベース	-	(105.21)	-	(24.20)	-	(11.50)
Rio Tinto Alcan (7ページ参照)	125.62	17.66	25.19	7.39	9.95	4.06

リオティントは、Alcanを2007年10月23日に取得しました。Rio Tinto Alcan商品事業部に関する以下のコメントは、2008年上半期と2007年上半期を想定比較ベースで比較しています。

価格

2008年のアルミニウム平均価格は、128セント/lbとなり、2007年上半期の平均価格より2%上昇しました。しかし、リオティントグループの、アルミニウムとアルミナの現物の販売契約においては、このLME価格に対して1~3ヶ月ずれたところで価格が値決めされます。これらの契約により価格が低く値決めされたため、2007年上半期と比較して1,600万ドル利益を押し下げました。一方、以前に契約された先物契約における固定価格は、引き続き利益に対してマイナスの効果をもたらしましたが、これらの契約の一部が満了したことにより、このマイナス効果が減少し、2007年上半期と比較すると、1.05億ドル利益を押し上げました。

利益

2008年上半期における商品事業部合計の利益は9.95億ドルとなり、想定比較ベースの2007年上半期と比較して5.61億ドル減少しました。これは、前述の価格要因による差し引きの改善及び数量増によるプラス効果よりも、為替レートの変動、コスト上昇（特に原油、苛性ソーダ、ピッチ、及びコークス）、及び2007年上半期比でのカナダ税率低減による恩恵の減少によるマイナス効果の方が上回ったことによりです。

Rio Tinto Alcanにおけるエンジニアード・プロダクツ事業部は、当商品事業部に含んで計算されています。（その他の欄にて集計されています。）パッケージング事業部は、収益やキャッシュフロー計算書に影響を与えず、貸借対照表に売却予定資産として含まれています。

ボーキサイト

ボーキササイトの生産量は、2007年上半期の想定比較ベースで比較すると、15%上昇しました。これは、2基目のシップローダーを導入したWeipaにおける能力増加を反映したものです。

アルミナ

アルミナの生産量は、2007年上半期の想定比較ベースで比較すると、10%上昇しました。

Yarwunアルミナ精製所での拡張工事は、予算通りで進んでおり、また予定通り、拡張能力からの最初の出荷が2010年下半期に見込まれています。このプロジェクトは2011年の下半期に完工する予定で、完工後、フル生産となるまでに12ヶ月かかると見込まれています。2007年7月に発表されたこの18億ドルのプロジェクトにより、年間能力は2011年までに140万トンから340万トンにまで増加することになります。2008年8月Yarwunで発生したパイプラインの詰まりにより、アルミナ生産の約1ヶ月相当分を失うことが予想されますが、アルミニウムの年間生産量には影響を与えないはずで

す。年間180万トンのGove精製所における拡張が行われ、徐々に生産が増加し続けており、2008年には260万トンの生産が見込まれています。目標である年間340万トン以上の操業は、2009年の終わりに達成できると考えられています。

アルミニウム

アルミニウムの生産は、2007年上半期の想定比較ベースで比較すると、1%上昇しました。オマーンにあるSohar製錬所は予定通りかつ予算内で、6月から操業を開始しており、同月から最初のホットメタルの生産を開始しました。

特にカナダにおいて、生産能力が徐々に増加していることにより、ニュージーランドのTiwai Point製錬所における減産を相殺しました。ニュージーランドにおける降雨不足が利用可能な電力量に悪影響を与え、Tiwai Point製錬所において月間生産量で2,900トンを減産する結果となりました。この状況は2008年第3四半期においても続く見込みです。2008年6月にWalesにあるAnglesey製錬所において、小規模の火事が発生し、それにより製錬所全体で停電が起こったことから、現状は、能力を下げた形で操業を行っております。

アルミニウムプロジェクト

アルミニウムの評価プロジェクトにかかるコストは、商品事業部内で報告されています。費用が増加した主な理由は、サグネー（カナダ）とサラワク（マレーシア）において、今年プロジェクトが進行中であるためです。

	2008 上	2007 上	前年差	(億ドル) 2007 年
生産量 (リオティント持分)				
銅採鉱量 (千トン)	400.1	384.6	+4%	737.9
銅地金生産量 (千トン)	161.1	202.3	-20%	390.0
モリブデン (千トン)	5.7	8.5	-33%	14.9
金採鉱量 (千オンス) ¹	207	476	-57%	970
ダイヤモンド (千カラット)	7,853	11,446	-31%	26,023
総売上 (以下全て億ドル)	47.05	47.69	-1%	95.21
商品事業部操業利益 (税引後)	18.02	19.54	-8%	39.14
評価プロジェクト/その他 (税引後)	(1.09)	(0.49)	+122%	(1.63)
EBITDA	29.51	32.68	-10%	63.36
設備投資	7.08	5.14	+38%	12.41

¹2008 年上半期に売却した Greens Creek 及び Cortez の生産は、全ての期間において、金採鉱量から除いています。

価格

2008 年上半期の銅平均価格は 367 セント/lb で、2007 年上半期と比較して 20% 上昇しました。金の平均価格は 910 ドル/オンスで、前年上半期と比較して 38% 上昇し、モリブデンの平均価格は 34 ドル/lb で前年上半期と比較して 21% 上昇しました。これらの影響と暫定価格からの推移による影響で根元的当期純利益は、6.01 億ドル増加しました。

Kennecott Utah Copper

2008 年上半期の根元的当期純利益は 6.73 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 1.12 億ドル減少しました。銅、金、及びモリブデンの販売数量減及びコストの上昇による影響が、販売価格上昇による効果を上回りました。2007 年から 2008 年における製錬所及び精錬所での生産減は、銅の粗鉱品位が減少したことにより、銅精鉱の生産も減少したことに起因します。モリブデン品位と生産量の減少は、採鉱手順の変更によるものです。メンテナンスコストの上昇や労働者・請負業者の人員増も 2008 年上半期の利益に負の影響を与えました。

Escondida

2008 年上半期の根元的当期純利益は 9.12 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.77 億ドル増加しました。これは、運送料および請負業者の増加や、原材料の高騰（特に硫酸）によって若干影響を受けましたが、販売価格の上昇が寄与しています。

Grasberg 合併事業

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.3 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.33 億ドル減少しましたが、主に金の数量が減少したことによるものです。一方で、金の品位が下がったため、2008 年上半期におけるリオティントの金の生産持分は、ゼロにまで減少しました。

Kennecott Minerals

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.25 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.31 億ドル減少しました。これは、年初における Cortez 及び Greens Creek のリオティント持分の売却によるものです。

Palabora

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.34 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 200 万ドル増加しました。販売価格の上昇と南アフリカのランドの下落は、精錬された量が減少したことによる影響を打ち消しました。

Northparkes

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.2 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.73 億ドル減少しました。これは、露天掘りから採鉱された低品位の在庫を処理したことに起因します。

ダイヤモンドマーケット

2008 年上半期の未加工ダイヤモンドの全体的な需要は堅調で、米国市場における需要は減少するも、新興国市場における需要によりバランスが取れた形となりました。しかし需要の状況は分かれてきました。品質がよいものに関しては需要が非常に堅調である一方、品位が低いものに関しては引き続き軟調でした。

Argyle

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.26 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 3 百万ドル減少しました。これは主に、Argyle 鉱山の 2007 年にて発生した、より高い製造コストが売上原価に入ってきたことによるコスト増によるものです。地質工学的な問題や年初において雨が多かったことにより制限されていた、品位が高い鉱山エリアへのアクセスが 5 月から可能となりました。

Diavik

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.8 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.16 億ドル増加しました。販売価格の上昇と数量の増加は、カナダドル上昇による影響以上に利益に貢献しました。生産量は、主に A154S pipe における品位の低下により、2007 年上半期と比較して 27%減少しました。

Murowa

Murowa の 2008 年上半期の利益は 3 百万ドルとなりました。2007 年上半期においては、利益はトンでした。利益増は、販売数量増によるものです。

銅及びダイヤモンドプロジェクト

数多くのプロジェクトが様々な評価ステージへ発展したため、コスト増を招きました。

ペルーの La Granja における広範囲なドリリングプログラムを実施後、リオティントは、0.51%の銅、及び 0.1%の亜鉛のグレードをもつ 28 億トンの予測鉱物資源量 (Inferred Mineral Resources) を発表しました。これは、カットオフ品位 0.3%で 0.56%の銅と同等のグレードに相当します。(2008 年 5 月 29 日のプレスリリースをご参照下さい。)

55%所有の Resolution 銅プロジェクト (米国) において、引き続き探鉱及び評価ドリリングを実施しました。リオティントは、1.51%の銅、及び 0.040%のモリブデンを含んだ 13.4 億トンの予測資源量 (Inferred Resources) を発表しました。(2008 年 5 月 29 日のプレスリリースをご参照下さい。) リオティントグループは、Resolution において予備事業化調査(Pre-feasibility study)の継続のために 6.52 億ドルの投資を行うことを 2008 年 8 月に発表しました。

インドネシアの Sulawesi ニッケルラテライト鉱床 (1.62 億トンの資源量で、1.62%のニッケル及び 0.08%のコバルトを含んでいます) が発見されたことを発表し、(2008 年 5 月 28 日のプレスリリースをご参照下さい。) リオティント銅事業部に譲渡されました。

モンゴルの Oyu Tolgoi プロジェクトについて、リオティントは鉱区の所有者である Ivanhoe Mine の権益を 9.9%保有しており、Javhlant 隣接地の鉱区権を Ivanhoe Mine と共有している、Entree Gold の権益を 16%保有しています。Javhlant の鉱区権での Ivanhoe の探鉱で、850 メートル以上の深さで、Heruga ポーフイリー銅・金の鉱床が発見されました。鉱床は継続して様々な方向に展開しており、引き続きドリリングが行われています。

暫定価格

2008 年 6 月末の時点で、グループの銅販売量のうち 2.73 億ポンドが、暫定価格 389 セント/ポンドで値決めされました。2008 年下半期に最終価格が決定されることとなります。これと比較して 2007 年 12 月末においては、2.7 億ポンドが暫定価格 304 セント/ポンドで値決めされました。2008 年上半期における暫定価格からの推移により、対前年同期と比較して、0.42 億ドル利益を押し上げる要因となりました。

	2008 上	2007 上	前年差	(億米ドル) 2007 年
生産量 (リオティント持分)				
石炭 (百万トン)				
米国	61.6	60.7	+1%	125.1
強粘結炭	3.1	3.1	-	6.2
その他豪州 ¹	11.0	10.1	+8%	19.9
ウラン (千ポンド)	6,495	6,006	+8%	12,616
チタン原料 (千トン)	761	718	+6%	1,458
ホウ酸塩 (千トン)	324	274	+18%	560
総売上 (以下全て億ドル)	46.49	35.89	+30%	76.66
商品事業部操業利益 (税引後)	7.08	4.08	+74%	7.59
評価プロジェクト/その他 (税引後)	(0.29)	(0.38)	-24%	(0.57)
EBITDA	15.10	9.05	+67%	18.46
設備投資	6.64	4.06	+64%	11.71

¹ 全期間におけるその他豪州は、2008 年上半期に売却した Tarong 炭鉱の生産量を除外。

米国石炭 – Rio Tinto Energy America (RTEA)

2008 年上半期の根元的当期純利益は、2007 年上半期と比較して 0.19 億ドル増加し、0.65 億ドルの利益を達成しました。これは、販売価格の上昇及び数量の増加が、エネルギー、修理、及びメンテナンスに関連した費用の増加分を上回った為です。Jacobs Ranch における陸上コンベアのランプアップが成功した事による生産量の増加は、中西部における鉄道が深刻な洪水により被害を受けて遅延が発生した事により、相殺されました。

2008 年 8 月 8 日、リオティントグループの完全子会社であり、Rio Tinto Energy America の石炭資産の大部分を保有している Cloud Peak Energy Inc. は、提案している普通株の新規株式公開(IPO)に関連して、米国証券取引委員会(SEC)に Form S-1 の登録届出書を提出すると発表しました。

リオティントは、Cloud Peak Energy Inc. を上場させるか、或いは別の形で売却を行うか、より十分に調査した後、最終的な判断をする予定です。

アジアパシフィックの海運石炭市場

アジアにおける一般炭輸出マーケット価格は、2008 年上半期に急上昇しました。これは、特に年初の大規模な洪水を受けた豪州 Queensland 州を始め、主要生産国においての供給障害が主な原因です。第三者によって管理されているインフラ設備に関する問題により、当面マーケットは引き続きタイトになると考えられます。

Rio Tinto Coal Australia

2008 年上半期の根元的当期純利益は 4.01 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 2.24 億ドル増加しました。これは販売価格の上昇が、鉄道及び海上の輸送コスト及びエネルギーコストの増加を上回ったためです。

Queensland 州における強粘結炭の生産量は、局地的な洪水が発生した第一四半期よりも大幅に回復しました。New South Wales 州の Hunter Valley 地区では、非微粘結炭の価格上昇の恩恵を受けるため生産が増加しました。New South Wales 州の Newcastle 港における滞船は減少しましたが、引き続き港湾能力の割当数量に沿った生産となりました。

Clermont の石炭プロジェクトの予算は、コストのインフレ及び豪州ドルの上昇分を考慮し見直しされました。最新の見積りでは、設備投資額は 12.9 億ドル（100%ベース）と見込まれています。プロジェクトは、引き続きスケジュール通りです。

ウラン市場

ウランのスポット価格は、今年の最初の 5 ヶ月間で 23%減少しました。これは、投機的な需要が底を突いた事及び、電力会社による積極的な任意の買いが価格下落に影響を与えた為です。

しかし、ここ数ヶ月間においては、幾分かスポットの需要が回復し、それに伴い価格も改善されました。ウランの供給が引き続きチャレンジングな状況の中で、世界規模で原子力発電の新規建設計画がペースを上げてきています。このことから、長期のウラン需要予測は引き続き強気となっています。

Rössing

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.51 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.07 億ドル増加しました。条件の不利な古い契約から、条件の良い新契約への移行が進んだことにより、価格上昇の恩恵を受けることが出来た為です。また、Rössing における鉱石品位の上昇により 2008 年上半期の生産は、剥土を集中的に行っていた 2007 年の同期比で 26%上昇しました。この生産量の増加は、2007 年には低水準であった在庫レベルを上昇させるために充当されました。

Energy Resources of Australia

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.22 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.2 億ドル増加しました。価格は、条件の不利な古い契約から、より高い市場価格の環境下において結ばれた新契約に徐々に置き換わったことで、引き続き恩恵を受けることになりました。

Rio Tinto Iron & Titanium

2008 年上半期の根元的当期純利益は 1.12 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 0.33 億ドル増加しました。金属系商品及びスラグの価格上昇により、全ての商品需要が堅調でした。これとあわせて、販売数量も増加しており、石炭のコスト、人件費、及び消耗品関連のコスト増を上回りました。

Rio Tinto Minerals

2008 年上半期の根元的当期純利益は 0.57 億ドルとなり、2007 年上半期と比較して 3 百万ドル減少しました。ホウ酸塩、タルク、及び塩の価格（特にホウ酸塩）が上昇し、エネルギー、運送、及び消耗品の費用増を上回りました。

探鉱及び評価

	2008 上	2007 上	前年差	(億ドル) 2007 年
税引後（費用）/収益	(0.62)	0.25	-348%	0.2

本社報告の税引後探鉱費用は、探鉱設備の除却益を控除した後のネット金額になっています。

2008 年上半期の税引後の探鉱評価関連費用（除却前）は 0.74 億ドルとなり、2007 年は 0.73 億ドルでした。リオティントは、引き続き商品ポートフォリオの最大化に焦点を当てており、2008 年上半期は探鉱の売却により 0.12 億ドル（税引き後利益）が認識され、それに対し 2007 年上半期は Peñasquito のロイヤルティーの権利売却を含んだ 0.98 億ドルでした。

優先順位が高い目標として認識されたのは、Minnesota の Tamarac ニッケル・銅プロジェクト（正式には、Lakeview）です。初期ドリリングにより、重要な硫化鉱の鉱脈の存在について広く知らせることができました。冬のプログラムにおける最終調査で、138m 部分には 1.6% のニッケル、1.1% の銅が、またその途中の 28m 部分には 3.6% のニッケル、2% の銅が報告されています(弊社 2008 年 5 月 29 日の Rio Tinto Value & Growth セミナー参照)。このプロジェクトについて、初期的事業価値(Order of Magnitude)の検討が進められることとなりました。

6月にリオティントは、インドの **Bunder** ダイヤモンドプロジェクトについて鉱山リース権の申請を提出したことを発表しましたが、インドで初めての世界レベルのダイヤモンド鉱山となり得る鉱山の開発にとって重要な一歩と言えます。更に、**Bunder Project** におけるダイヤモンド鉱資源の探鉱目標を、トン当たり **0.3~0.7** カラットの品位のもので **4,000 万~7,000 万トン** としたことを発表しました(弊社 2008 年 6 月 23 日のプレスリリース参照)。

当四半期において、セルビア **jadar** のリチウムホウ酸塩プロジェクトに対する初期的事業価値(**Order of Magnitude**)検討が加速されました。このプロジェクトの目標探鉱量は、**1.8%~2.2%**の **Li₂O** 及び **13.5~16.5%**の **B₂O₃** で **0.8 億~1 億トン**です(弊社 2008 年 5 月 29 日の **Rio Tinto Value & Growth** セミナー参照)。

鉱山リースによる探鉱については、**Kennecott Utah Copper**、**Northparkes**、**Rössing**、**Argyle**、**Diavik**、及び蒙州の **Rio Tinto Ion Ore** を含む、リオティントの数多くの事業で引き続き行われています。

2008 年 8 月 12 日にリオティントは、西蒙州の **Kintyre** ウランプロジェクトを **4.95 億ドル**で **Camenco Corporation** の子会社と **Mitsubishi Development Pty Ltd** の合併事業へ売却が完了したことを発表いたしました。

投資プロジェクト

億ドル

プロジェクト	予想コスト/億ドル	現状/特記事項
2008年完了済案件		
アルミニウム – 年間 36 万トン規模のオマーン・Sohar 製錬所（リオティント持分 20%）の新規開発	17	2005 年 2 月に承認、2008 年 6 月に最初のホットメタルが生産されました。
アルミニウム – ケベックにあるアルミニウム製錬に使う電解槽のリサイクル工場（リオティント持分 100%）	2.25	2006 年 2 月に承認、2008 年 4 月に工場における電解槽の加工処理が開始されました。
現在進行中		
銅 – Kennecott Utah Copper（リオティント持分 100%）East one push back。このプロジェクトは露天掘りの寿命を 2020 年まで引き伸ばす上、その後坑内掘りか露天掘りの選択肢を持つことができる。	1.70	このプロジェクトは、2005 年 2 月に承認され、pushback 作業を実行中。小石の破砕機のコミッションは 2006 年第 3 四半期に行われました。
チタニウム原料 – QMM（リオティントの持分 80%）によるマダガスカルのイルメナイト鉱山開発及び QIT における製錬設備の向上	10	現状建設中です。2007 年に予算を修正し、2008 年の終わり頃に最初の生産が予想されています。
アルミナ – Gove Alumina Refinery（リオティント持分 100%）の 200 万トンから 380 万の拡張	23	2004 年 9 月に承認、2009 年の終わりには 340 万トンを超える操業レートに達成する見通しです。
ウラニウム – Rössing（リオティント持分 68.6%）ウラン鉱山の寿命を 2016 年まで延長	1.12	2005 年 12 月に承認され、鉱山寿命を 2016 年以降に延長するための作業は、スケジュール通りかつ予算内です。鉱山寿命延長の為の見積り額は 0.82 億ドルで変更なし、内 0.3 億ドルは維持にかかる設備投資です。
ダイヤモンド – Argyle（リオティント持分 100%）露天掘りを停止し、坑内掘りの開発により鉱山寿命を 2018 年まで延長	15.00 未満	2005 年 12 月に承認され、坑内掘り開発は 34 キロメートルのトンネルで構成され、掘削は現状 50% が完了しました。主だった坑内掘りのインフラの建設は、2008 年 2 月から開始され、2010 年 12 月に坑内掘りのフル生産を達成できる予定です。

投資プロジェクト (続き)

億ドル

プロジェクト	予想コスト/億ドル	現状/特記事項
現在進行中 (続き)		
銅 – Northparkes (リオティント持分 80%) E48 のブロックケーシングプロジェクトにより鉱山寿命を 2016 年まで延長	2.29	2006 年 11 月に承認されました。プロジェクトの範囲が拡大し、完了予定が 2009 年 12 月に延長となりました。最初の生産については、スケジュールよりも進んでおり、2009 年 2 月に開始できることが期待されています。
エネルギー – Clermont (リオティント持分 50.1%) Blair Athol 炭鉱の後継として、年間 1,220 万トンまで生産を拡大予定。	12.9 (表示予測)	2007 年 1 月に承認されました。2010 年第 1 四半期に石炭生産が開始する見込みであり、2013 年にはフル生産に到達する予定です。現地でのコストインフレ及び豪州ドルの上昇に伴い、予想投資額が上昇しました。
鉄鉱石 – Cape Lambert (リオティント持分 53%) の年間能力：5,500 万トンから 8,000 万トンへの港湾設備拡張および鉄道車両とインフラの追加	9.52	2007 年 1 月に承認されました。プロジェクトは、2008 年末までに完成予定で、2009 年上半期から能力が徐々に増加する見込みです。投資コスト計画には、鉄道及びインフラ設備の追加のための 0.92 億ドルが含まれています。
アルミナ – Yarwun Alumina Refinery の拡張で年間生産量を 140 万トンから 340 万トンへ	18.0	2007 年 7 月に承認され、Yarwun における年間生産量を倍以上に増加させます。2010 年第 2 四半期までに最初の出荷が予定され、2011 年第 2 四半期の拡張が完了する予定です。
鉄鉱石 – Hope Downs 南第 2 段階の拡張 (リオティント持分 50%) で年間 2,200 から 3,000 万トンへの拡張	3.5	2007 年 8 月に承認されました。拡張工事は、2009 年初頭までに完了する見込みです。
ダイヤモンド – Diavik (リオティント持分 60%) における坑内掘りの建設	7.87	5.63 億ドルの設備投資につき、2007 年 11 月に承認されました。さらに、2006 年から 2007 年に、実現可能性検討 (Feasibility Study) 及びそれに関連する資本プロジェクトに、2.24 億ドル投資されました。坑内掘りの最初の生産は、2009 年を予定しています。
鉄鉱石 – Mesa A (リオティント持分 53%) の開発：年間生産能力 2,500 万トンの鉱山及び関連インフラ設備の建設	9.01	2007 年 11 月に承認されました。鉱山の開発は 2010 年までに完了し、2011 年までには年間生産能力 2,500 万トンへの能力増強される見通しです。'

投資プロジェクト (続き)

億ドル

プロジェクト	予想コスト/億ドル	現状/特記事項
現在進行中 (続き)		
鉄鉱石 – Brockman 4 (リオティント持分 100%) の開発: 年間生産能力 2,200 万トンの鉱山(フェーズ A)及び関連インフラ設備の建設	15	2007 年 11 月に承認されました。年間能力 2,200 万への拡張をするフェーズ A は 2010 年までに完了する見込みです。さらに、2012 年までには年間能力 3,600 万トンへの拡張がなされる見込みです。
原料炭 – Kestrel (リオティント持分 80%) 炭鉱の延長及び拡張	9.91	2007 年 12 月に承認され、炭鉱の寿命を 2031 年まで延長し、平均して年間 570 万トンの生産量に増加する予定です。
ニッケル – Eagle 鉱山 開発 (ミシガン、米国)	3.00	2007 年 12 月に承認され、高品位のニッケル及び銅の採鉱が見込まれ、2009 年後半に生産開始予定です。7 年間に渡りニッケルを年間で、16,000 トン供給する予定です。
アルミニウム – Boyne Smelters (リオティント持分 59.4%) の Line1 と 2 における上部クレーンの更新及びクレーン用レールのアップグレード	2.70	2008 年 2 月に承認され、電解 Line1 及び 2 における移動式クレーン及びそのレールを更新し、より効率の良いクレーンやアルミナ輸送システムとなります。このプロジェクトは、2010 年までに完了する予定です。
アルミニウム – Boyne Smelters (リオティント持分 59.4%) の Line1 と 2 における炭素電極焼成炉(Carbon bake furnace)の更新	3.47	2008 年 2 月に承認され、Line1 及び 2 へ陽極 (アノード) を供給する、炭素電極焼成炉(Carbon bake furnace)を更新します。このプロジェクトは、2011 年の半ばに完了する予定です。

¹ Mesa A 開発においては、現状資源埋蔵量が明確になっていません。よって、ここに記載されている年間生産能力は、Mesa A オペレーションにより、十分な資源埋蔵量が確保できることが前提となっています。

億ドル

プロジェクト	予想コスト/億ドル	現状/特記事項
最近承認された案件		
鉄鉱石 – IOC (リオティント持分 58.7%) における鉄鉱石の年間生産を 2,200 万トンにする。	4.75	2008 年 3 月に承認され、IOC における拡張プログラムの第 1 フェーズです。2011 年までに 50% の生産能力が増加する予定です。
モリブデン – Kennecott Utah Copper (リオティント持分 100%) における MAP (Molybdenum Autoclave Process) 施設を建設	2.7	2008 年 6 月に承認され、MAP 施設は 2010 年第 3 四半期から生産開始予定です。モリブデンを新たに 6,900 万ポンド追加でき、鉱山寿命を 2036 年にまで伸ばすことができそうです。

投資プロジェクト (続き)

億ドル

プロジェクト	予想コスト/億ドル	現状/特記事項
最近承認された案件		
鉄鉱石 – 西豪州 Pilbara 地域における鉄鉱石の鉄道の自動化 (リオテイント持分 94.3%)	3.71	2008年6月に承認され、鉄道の自動化の開始は、18ヶ月以上にも渡る鉄道ネットワークの更新プロジェクトの一部です。
鉄鉱石 – 2012年末までに Pilbara の操業における能力を年間 3.2 億トンにするための、インフラ調達と鉱山拡張の研究*	6.67	2008年6月に承認され、インフラ導入の初期作業及び重機設備のような納期が長い設備の取得のために、5.18億ドル (リオテイント持分 66.2%) 調達しました。残りの 1.49億ドル (リオテイント持分 100%) は、Western Turner Syncline における新しい鉄鉱石鉱山の調査のために投資されます。この調査中の鉱山は、年間 2,900 万トンまで徐々に能力を増加させ、既存の Tom Price 加工工場への供給ができ、2010年第4四半期から製造が開始するスケジュールです。
鉄鉱石 – 西豪州の鉄鉱石の採鉱能力を支えるため、より環境にやさしく、より持続性のある発電への投資	5.03	2008年6月に承認され、発電及び送電インフラが、港湾及び鉱山の操業に必要な電力を供給します。2010年より発電所が稼働開始する予定です。
鉄鉱石 – ブラジルの Corumbá (リオテイント持分 100%) の鉱山における大掛かりな拡張投資	21.5	2008年7月に承認され、このプロジェクトにより、年間能力を6倍以上 (200万トンから 1,280万トン) 増加させ、2010年第4四半期から新しい生産が開始する予定です。設備投資の予想コストには、港湾設備と川を渡る船への膨大な投資が含まれています。
銅 – Arizona にある Resolution において巨大かつ中核的な銅鉱山への継続的な予備事業化調査 (Pre-feasibility study) に関する投資	6.52	2008年8月に承認され、予備事業化調査は 2012年に終了することが期待され、2020年に新しい鉱山から生産が開始される見込みで、いずれは銅の年間数量が 50 万トンまで徐々に増加すると見込まれます。*

* Pilbara 操業における鉄鉱石の生産数量は、年間 3.2 億トンで、リオテイントに帰属するシェアは、80-85%です。

* Resolution 開発においては、現状資源埋蔵量が明確になっていません。よって、ここに記載されている年間生産能力は、Resolution オペレーションにより、十分な資源埋蔵量が確保できることが前提となっています。

価格及び為替レート影響

以下の影響は、個々の商品価格及び為替レートが個別に変化するという仮定に基づき、根元的当期純利益への影響を予想したものです。本来、為替と商品価格の関係は、非常に複雑で、為替レートの変動は商品価格を変動させ、逆の場合も同様であり相互に影響しあっています。以下の表で示された為替影響は、操業コストの為替レート変動による影響は含んでいますが、外貨建ての運転資本の再評価による影響は除外しています。その為、これらは注意を払って取り扱う必要があります。

	平均価格/為替レート 2008 年上半期	変化	年間根元的当期純利益への 影響(億ドル)
銅	367c/lb	+/- 37c/lb	4.46
アルミニウム ¹	128c/lb	+/- 13c/lb	8.02
金	\$910/oz	+/- \$91/oz	0.31
モリブデン	\$34/lb	+/- \$3c/lb	0.68
豪ドル ¹	92USc	+/- 9.2USc	5.41
カナダドル ¹	99USc	+/- 9.9USc	2.26
南アフリカ ランド	13USc	+/- 1.3USc	0.51
米ドル-3ヶ月 LIBOR ¹		+/- 0.5%	1.47

¹ 純利息のセンシティブティティーは、1年フルの影響で2008年6月末の純負債に基づいています。

— 英語版からの抜粋 —

About Rio Tinto

Rio Tinto is a leading international mining group headquartered in the UK, combining Rio Tinto plc, a London and NYSE listed company, and Rio Tinto Limited, which is listed on the Australian Securities Exchange.

Rio Tinto's business is finding, mining, and processing mineral resources. Major products are aluminium, copper, diamonds, energy (coal and uranium), gold, industrial minerals (borax, titanium dioxide, salt, talc) and iron ore. Activities span the world but are strongly represented in Australia and North America with significant businesses in South America, Asia, Europe and southern Africa.

Forward-Looking Statements

This announcement includes forward-looking statements. All statements other than statements of historical facts included in this announcement, including, without limitation, those regarding Rio Tinto's financial position, business strategy, plans and objectives of management for future operations (including development plans and objectives relating to Rio Tinto's products, production forecasts and reserve and resource positions), are forward-looking statements. Such forward-looking statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors which may cause the actual results, performance or achievements of Rio Tinto, or industry results, to be materially different from any future results, performance or achievements expressed or implied by such forward-looking statements.

Such forward-looking statements are based on numerous assumptions regarding Rio Tinto's present and future business strategies and the environment in which Rio Tinto will operate in the future. Among the important factors that could cause Rio Tinto's actual results, performance or achievements to differ materially from those in the forward-looking statements include, among others, levels of actual production during any period, levels of demand and market prices, the ability to produce and transport products profitably, the impact of foreign currency exchange rates on market prices and operating costs, operational problems, political uncertainty and economic conditions in relevant areas of the world, the actions of competitors, activities by governmental authorities such as changes in taxation or regulation and such other risk factors identified in Rio Tinto's most recent Annual Report on Form 20-F filed with

the United States Securities and Exchange Commission (the "SEC") or Form 6-Ks furnished to the SEC. Forward-looking statements should, therefore, be construed in light of such risk factors and undue reliance should not be placed on forward-looking statements. These forward-looking statements speak only as of the date of this announcement. Rio Tinto expressly disclaims any obligation or undertaking (except as required by applicable law, the City Code on Takeovers and Mergers (the "Takeover Code"), the UK Listing Rules, the Disclosure and Transparency Rules of the Financial Services Authority and the Listing Rules of the Australian Securities Exchange) to release publicly any updates or revisions to any forward-looking statement contained herein to reflect any change in Rio Tinto's expectations with regard thereto or any change in events, conditions or circumstances on which any such statement is based.

Nothing in this announcement should be interpreted to mean that future earnings per share of Rio Tinto plc or Rio Tinto Limited will necessarily match or exceed its historical published earnings per share.

Subject to the requirements of the Takeover Code, none of Rio Tinto, any of its officers or any person named in this announcement with their consent or any person involved in the preparation of this announcement makes any representation or warranty (either express or implied) or gives any assurance that the implied values, anticipated results, performance or achievements expressed or implied in forward-looking statements contained in this announcement will be achieved.

更なる情報については、以下の場所に連絡して下さい。

ロンドン

Christina Mills

オフィス : +44 (0) 20 7781 1154

携帯電話 : +44 (0) 7825 275 605

Nick Cobban

オフィス : +44 (0) 20 7781 1138

携帯電話 : +44 (0) 7920 041 003

アメリカ

Nancy Ives

携帯電話 : +1 619 540 3751

ロンドン

Nigel Jones

オフィス : +44 (0) 20 7781 2049

携帯電話 : +44 (0) 7917 227365

David Ovington

オフィス : +44 (0) 20 7781 2051

携帯電話 : +44 (0) 7920 080 978

北米

Jason Combes

オフィス : +1 (0) 801 685 4535

携帯電話 : +1 (0) 801 558 2645

日本

植松 健 / 大木 龍

オフィス : 03-3222-2440

豪州

Amanda Buckley

オフィス : +61 (0) 3 9283 3627

携帯電話 : +61 (0) 419 801 349

Ian Head

オフィス : +61 (0) 3 9283 3620

携帯電話 : +61 (0) 408 360 101

豪州

Dave Skinner

オフィス : +61 (0) 3 9283 3628

携帯電話 : +61 (0) 408 335 309

Simon Ellinor

オフィス : +61 (0) 7 3867 1068

携帯電話 : +61 (0) 439 102 811

E-mail: questions@riotinto.com

高画質な映像は右のリンクより参照可能です。

Website: www.riotinto.com

Website: www.newscast.co.uk

※当資料はリオティントの Half Year Results 2008 (8月26日公表)の日本語版です。細心の注意を払い作成していますが、あくまでも英語版が正式なレポートである点、ご理解頂いたうえでご利用下さい。
[英語版のダウンロードはこちらから](#)

連結損益計算書	2008 年上 億ドル	2007 年上 億ドル	2007 年度 億ドル
総売上高 (持分会計適用会社持分込み) (a)	300.05	139.30	335.18
連結売上	271.92	120.55	297.00
営業費用 (以下の項目を除く)	(192.12)	(77.46)	(207.52)
減損費用	(0.06)	(4.49)	(0.58)
権益売却益	22.48	-	0.02
探鉱及び評価コスト (b)	(3.84)	(0.63)	(3.21)
営業利益	98.38	37.97	85.71
持分会計適用会社持分相当額	9.13	8.65	15.84
税引前経常利益 (財務項目を除く)	107.51	46.62	101.55
財務項目			
外部純借入金とグループバランスの為替影響	(0.10)	0.65	1.94
ヘッジ会計として認められない金融派生商品	(2.56)	0.23	0.57
受取金利及びそれに類する収益	1.30	0.46	1.34
支払金利及びそれに類する費用	(8.10)	(0.67)	(5.38)
現在価値に換算した引当金の償却額	(1.19)	(0.70)	(1.66)
小計	(10.65)	(0.03)	(3.19)
税引前当期純利益	96.86	46.59	98.36
当期納税額	(23.95)	(12.58)	(20.90)
当期利益	72.91	34.01	77.46
外部株主に帰属する利益	3.77	1.48	4.34
リオティント株主帰属利益 (当期純利益)	69.14	32.53	73.12
普通株式 1 株当たり純利益 (c)	538.7c	251.3c	568.7c
普通株式 1 株当たり稀釈化利益	536.1c	250.4c	566.3c
当期に支払った配当金 (億ドル)	10.83	8.37	15.07
一株当たり配当金: 当期支払分			
一通常配当金	84.0c	64.0c	116.0c
一株当たり配当金: 当期業績発表時			
一通常配当金	68.0c	52.0c	84.0c

(a) 総売上高は、子会社への連結売上上のみならず、持分会計適用会社の持分相当額 28.13 億ドル (2007 年 6 月末: 18.75 億ドル、2007 年 12 月末 38.18 億ドル) を含みます。

(b) 探鉱及び評価コストには、合計して純額 0.22 億ドルの未開発資産売却益が含まれています。(2007 年 6 月末: 1.31 億ドル、2007 年 12 月末 2.53 億ドル)

(c) 普通株式 1 株当たり純利益算定時の当期加重平均株式数は、Rio Tinto plc 及び Rio Tinto Ltd. 合計で 12.834 億株 (2007 年 6 月末: 12.944 億株、2007 年 12 月末: 12.858 億株) で、内訳としては、Rio Tinto plc が 9.977 億株 (2007 年 6 月末: 10.087 億株、2007 年 12 月末: 10.001 億株) で Rio Tinto plc が保有しない Rio Tinto Ltd. 株が 2.857 億株です。(2007 年 6 月末及び 2007 年 12 月末: 2.857 億株)

連結キャッシュ・フロー計算書	2008年上 億ドル	2007年上 億ドル	2007年 億ドル
連結活動によるキャッシュ・フロー	78.50	50.48	108.05
持分会社適用会社からの配当金	10.10	6.91	17.64
事業活動によるキャッシュ・フロー	88.60	57.39	125.69
受取金利-支払金利（純額）	(9.23)	(0.69)	(4.89)
外部株主に対する配当金支払	(1.07)	(0.71)	(1.68)
税金支払額	(22.48)	(17.47)	(34.21)
営業活動によるキャッシュ・フロー	55.82	38.52	84.91
投資活動によるキャッシュ・フロー			
合併会社及び子会社の売買差額	25.95	(0.17)	(375.26)
有形、無形固定資産の購入	(36.80)	(19.42)	(50.00)
その他金融資産売却	0.95	0.18	0.49
その他金融資産購入	(0.72)	(1.97)	(2.73)
その他の投資活動によるキャッシュ・フロー	(4.28)	1.45	0.08
投資活動によるキャッシュ・フロー	(14.90)	(19.93)	(427.42)
財務活動前のキャッシュ・フロー	40.92	18.59	(342.51)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
リオティント株主への持分権益配当の支払	(10.83)	(8.37)	(15.07)
リオティント株主より購入した自己株式	-	(14.28)	(16.24)
普通株式発行による収入	0.28	0.21	0.13
新規借入による収入	45.59	13.83	391.95
借金返済	(78.18)	(8.43)	(10.34)
その他の財務活動によるキャッシュ・フロー	0.52	0.23	0.54
財務活動によるキャッシュ・フロー	(42.62)	(16.81)	350.97
現金及び現金等価物の為替影響	2.28	(0.10)	(0.27)
現金及び現金等価物の増減額	0.58	1.68	8.19
現金及び現金等価物期首残高	15.41	7.22	7.22
現金及び現金等価物期末残高	15.99	8.90	15.41
連結活動によるキャッシュ・フローの内訳			
税金等調整前当期純利益（以下調整項目）	72.91	34.01	77.46
税金	23.95	12.58	20.90
財務項目	10.65	0.03	3.19
持分会社適用会社税引後利益の持分相当額	(9.13)	(8.65)	(15.84)
権益売却益	(22.48)	-	(0.02)
減損費用	0.06	4.49	0.58
減価償却費及びアモチゼーション	17.85	8.65	21.15
引当金繰入額	2.54	1.33	3.08
引当金取崩額	(2.51)	(0.77)	(1.62)
退職給付引当金取崩額	(2.18)	(0.39)	(1.21)
棚卸資産の増減額	(4.63)	(0.77)	1.30
売上債権及びその他債権増減額	(11.59)	1.32	(3.85)
仕入債務及びその他債務増減額	4.83	(0.88)	3.75
その他	(1.77)	(0.47)	(0.82)
合計	78.50	50.48	108.05

連結貸借対照表 (単位: 億ドル)	2008 年上	2007 年	2007 年上
固定資産			
営業権	156.04	154.97	8.83
無形資産	78.36	79.10	5.18
有形固定資産	491.86	456.47	240.45
合弁会社及び持分会社適用会社への投資	74.16	70.38	27.61
合弁会社への貸付	2.81	2.45	1.23
棚卸資産	1.94	1.78	1.04
売上債権及びその他の債権	15.39	18.62	13.04
繰延税金資産	7.94	5.85	1.44
回収可能税金	0.56	0.06	0.04
その他金融資産	6.90	5.80	6.47
小計	835.96	795.48	305.33
流動資産			
棚卸資産	58.32	53.82	27.24
売上債権及びその他債権	77.78	64.79	28.40
売却予定資産 (a)	68.81	70.24	-
持分会社適用会社への貸付金	1.69	1.17	0.19
回収可能税金	5.63	2.50	0.79
その他金融資産	7.74	9.46	2.52
現金及び現金等価物	16.83	16.45	9.26
小計	236.80	218.43	68.40
流動負債			
当座貸越の返済	(0.84)	(1.04)	(0.36)
借入金	(68.65)	(81.09)	(17.93)
仕入債務及びその他債務	(68.59)	(66.67)	(26.33)
売却予定グループ負債 (a)	(22.75)	(26.32)	-
その他金融負債	(11.41)	(8.78)	(3.41)
未払税金	(12.53)	(4.94)	(6.76)
引当金	(9.17)	(7.83)	(4.07)
小計	(193.94)	(196.67)	(58.86)
流動純資産	42.86	21.76	9.54
固定負債			
中期および長期借入金	(369.30)	(386.14)	(19.57)
仕入債務及びその他債務	(4.57)	(5.03)	(3.69)
純借入金に関わる金融派生商品	(7.57)	(4.96)	(2.24)
未払税金	(2.78)	(0.66)	(0.38)
繰延税金負債	(64.17)	(64.86)	(24.53)
退職給付引当金	(30.80)	(31.95)	(6.71)
引当金	(63.68)	(60.40)	(38.28)
小計	(542.87)	(554.00)	(95.40)
純資産	335.95	263.24	219.47
資本金及び資本準備金	2008 年上	2007 年	2007 年上
株式資本			
-Rio Tinto plc	1.72	1.72	1.72
-Rio Tinto Ltd. (Rio Tinto plc 持分除く)	13.38	12.19	11.78
資本準備金	19.49	19.32	19.29
その他準備金	35.36	24.16	16.47
利益剰余金	247.25	190.33	157.05
リオティント株主持分	317.20	247.72	206.31
外部株主持分	18.75	15.52	13.16
資本合計	335.95	263.24	219.47

(a) 2007年12月末時点で売却予定の資産及び負債の内訳は、Alcanのパッケージング事業及びエネルギー事業部の Tarong Coal 鉱山です。Tarong Coal 鉱山は、2008年1月31日に簿価よりも高い価格で売却しました。Alcanのパッケージング事業は、売却目的で取得しています。そのため、この業績についてはグループの損益計算書に影響を及ぼしません。

(b) 2008年6月30日時点で、Rio Tinto plcは普通株式を9.981億株発行しており、Rio Tinto plc保有分を除く Rio Tinto Ltd.は2.857億株を発行しています。

(c) 一株当たりの有形固定資産（純額）は、6.45ドルです。（2007年12月31日：1.06ドル、2007年6月30日：14.97ドル）

容認済連結収益費用計算書(SORIE) (単位:億ドル)	リオ 株主持分	外部株主 持分	08年 6月末	07年 6月末	07年 12月末
通貨変更による調整	17.28	0.64	17.92	11.31	20.21
キャッシュ・フローヘッジ時価評価損益	(5.04)	(1.53)	(6.57)	(1.36)	(4.24)
売却可能有価証券評価損益	(1.27)	-	(1.27)	0.56	0.51
損益計算書計上済のキャッシュ・フローヘッジ売却損	1.19	0.58	1.77	0.59	1.65
損益計算書計上済の有価証券売却益	(0.01)	-	(0.01)	(0.15)	(0.16)
年金数理による退職引当金損益	(2.57)	0.04	(2.53)	3.47	1.41
純資産に対して直接容認された税金	2.47	0.36	2.83	(0.30)	1.93
純資産に対して直接容認された費用/収益の合計	12.05	0.09	12.14	14.12	21.31
当期税引後利益	69.14	3.77	72.91	34.01	77.46
当期容認済収益	81.19	3.86	85.05	48.13	98.77

連結持分変動計算書 (単位:億ドル)	リオティント 株主持分	外部株主 持分	2008年 6月末	2007年 6月末	2007年 12月末
開始残高	247.72	15.52	263.24	193.85	193.85
今年度容認された合計収益	81.19	3.86	85.05	48.13	98.77
配当金	(10.83)	(1.09)	(11.92)	(9.08)	(16.71)
リオティント株主からの 自己株式取得					
ー資本管理プログラム	-	-	-	(13.72)	(13.72)
ー株式オプションの実行	(1.44)	-	(1.44)	(0.31)	(0.64)
普通株式発行	0.28	-	0.28	0.21	0.37
取得会社における外部株主	-	-	-	-	0.55
子会社株式発行	-	0.46	0.46	0.23	0.38
従業員持株制度による損益計算 書計上額	0.28	-	0.28	0.16	0.39
期末残高	317.20	18.75	335.95	219.47	263.24

豪州 IFRS との調整

グループの財務諸表は、EUによって受理された IFR (EU IFRS)に準拠して作成されましたが、豪州の IFRS とは若干相違する箇所があります。

2004年1月1日以前は、リオティントの財務諸表は英国 GAAP に基づいて作成されていました。EU IFRS のものでは、1998年以前における買収により取得した営業権については、英国 GAAP に基づいて作成されたリオティントグループの財務諸表の資本から直接控除され、再表示されていません。これについては、EU IFRS への移行をまとめる基準 (IFRS 1) により許可されています。同様の豪州基準 AASB 1 については、営業権の資本直接控除について明記されていません。その結果、豪州 IFRS に基づく株主ファンドにはこのような営業権の残余部分が、2008年6月30日において7.30億ドル含まれています。（2007年6月30日及び2007年12月31日：7.36億ドル）

上記の例外を除けば、EU IFRS に準拠して作成されたリオティントグループの財務諸表は、豪州 IFRS の要求事項を満たしています。

当期純利益と根元的当期純利益の調整 根元的当期純利益の除外項目 (単位: 億ドル)	税前利益	税額	外部株主 持分	2008年 6月末	2007年 6月末	2007年 12月末
權益売却益 (b)	22.48	(7.66)	-	14.82	-	0.01
減損の純額 戻し額/費用発生額 (c) 為替変動及び金融派生商品	(0.06)	0.03	-	(0.03)	(3.14)	(1.13)
－外部純借入金とグループバランスの為替影響 (d)	(0.20)	3.47	0.12	3.39	0.06	1.56
－ヘッジ会計として認められない通貨及び 金利デリバティブによる損益 (e), (f)	0.06	(0.04)	-	0.02	0.19	0.34
ヘッジ会計として認められない商品デリバティブ (g)	(3.26)	0.60	0.06	(2.60)	-	-
その他の除外項目 (h)	(1.66)	0.46	-	(1.20)	0.13	(2.09)
根元的当期純利益の除外項目合計	17.36	(3.14)	0.18	14.40	(2.76)	(1.31)
当期純利益	96.86	(23.95)	(3.77)	69.14	32.53	73.12
根元的当期純利益	79.50	(20.81)	(3.95)	54.74	35.29	74.43

根元的当期純利益 (Underlying Earning) とは、Rio Tinto がその根底にある操業のビジネス・パフォーマンスをより忠実に表現すべく用いた表現です。根元的当期純利益及び当期純利益は、両方ともにリオティント持株帰属分です。根元的当期純利益は、当期純利益から以下の(b)から(h)を控除したものです。

- (a) 持分会社適用会社に関連する根元的当期純利益からの除外項目は、税引後にて表示されています。
 (b) 權益売却益は主に、Cortez 金鉱山及び Greens Creek 鉱山の売却によるものです。
 (c) 未開発の土地以外の非流動資産の減損関連費用。
 (d) 米ドル建て債務及びグループバランスの為替差損益。外部債務及びグループバランスの為替差損益にかかる税金部分は今回限り発生する、2.9 億ドルの前年以前の税金回収関連分を含みます。
 (e) 純粋な商取引以外のヘッジ会計として認められない通貨及び金利デリバティブの再評価
 (f) 基準通貨が米ドル以外の組織における米ドルデリバティブ契約に基づく時価評価額
 (g) 純粋な商取引を含んだヘッジ会計として認められない商品デリバティブの再評価
 (h) 根元的なビジネス・パフォーマンスの追加的な洞察ができるようにするため除外されるべき損益項目

根元的当期純利益のその他除外項目は、買収、売却、及び同様な全社プロジェクトに関連した例外的コストからなります。

連結上の純借入金 (単位: 億ドル)	2008年 6月末	2007年 12月末	2007年 6月末
連結純借入金の変動分析			
開始残高	(451.52)	(24.37)	(24.37)
通貨変換による調整	(1.58)	(2.23)	(1.63)
損益計算書に計上された為替差損益	1.41	1.36	1.03
純借入金に関連する金融派生商品の損益	0.15	0.11	(0.03)
買収企業の負債	-	(54.65)	-
為替変動を除くキャッシュ・フロー	30.83	(373.32)	(3.62)
その他の変動	-0.53	1.58	0.00
期末残高	(421.24)	(451.52)	(28.62)
期末残高明細			
借入金	(437.95)	(467.23)	(37.50)
要求に基づき支払い義務が生じる当座借越	(0.84)	(1.04)	(0.36)
現金及び現金等価物	16.83	16.45	9.26
その他の流動的な資産	0.06	0.06	0.06
純借入金に関連した金融派生商品	0.66	0.24	(0.08)
連結上純借入金	(421.24)	(451.52)	(28.62)

主要セグメント別分析表（商品事業部別） （単位：億ドル）	2008年 6月末	2007年 6月末	2007年 12月末
売上高			
鉄鉱石	80.86	37.80	89.24
エネルギー及び産業用鉱産物	44.73	34.45	73.65
アルミニウム	119.06	17.66	71.05
銅及びダイヤモンド	27.24	30.38	62.58
その他	0.03	0.26	0.48
連結売上高	271.92	120.55	297.00
持分会計適用会社	28.13	18.75	38.18
総売上高	300.05	139.30	335.18

財務項目及び税金控除前の連結上利益			
鉄鉱石	44.88	17.02	40.83
エネルギー及び産業用鉱産物	12.35	5.67	13.39
アルミニウム	13.24	6.03	8.13
銅及びダイヤモンド	33.50	11.74	30.26
商品事業部に割当てできない探鉱及び評価	(0.68)	0.55	0.58
その他	(4.91)	(3.04)	(7.48)
営業利益(セグメント業績)	98.38	37.97	85.71

持分適用会社持分の税引後利益			
銅	9.13	8.42	15.42
その他商品事業部	-	0.23	0.42
財務項目及び税金控除前利益	107.51	46.62	101.55

地域別分析表（原産国基準）

2008年上 %	2007年上 %	2007年 %		2008年上 億ドル	2007年上 億ドル	2007年 億ドル
			総売上高			
22.7%	22.2%	22.6%	北米	68.13	30.93	75.82
25.4%	17.0%	19.8%	欧州	76.24	23.68	66.41
14.7%	18.8%	16.8%	日本	44.19	26.20	56.33
16.5%	17.3%	18.0%	中国	49.42	24.04	60.21
11.2%	14.0%	12.2%	その他アジア	33.52	19.49	41.05
3.8%	5.3%	5.6%	豪州及びニュージーランド	11.27	7.39	18.92
5.7%	5.4%	5.0%	その他	17.28	7.57	16.44
100.0%	100.0%	100.0%	合計	300.05	139.30	335.18

税金調整表	'08年上 億ドル	07年上 億ドル	'07年 億ドル
税引前利益	96.86	46.59	98.36
控除：持分会計適用会社の税引後純利益持分	(9.13)	(8.65)	(15.84)
親会社及び子会社税前利益	87.73	37.94	82.52
イギリス及び豪州の税率28%に基づく予定未払税金額 (2007年は30%)	24.56	11.38	24.76
豪州での収益に対して課税される税率の上昇	0.80	0.00	0.00
根元的当期純利益の除外項目による影響額	(1.93)	0.36	(0.28)
税率の変化に伴う繰延税金負債の調整	(0.26)	(0.10)	(3.92)
イギリス及び豪州以外で適用される税率	1.67	1.39	2.71
資源減耗額及びその他の償却引当	(0.77)	(0.86)	(1.73)
研究開発及びその他の投資に関する引当	(0.27)	(0.08)	(0.81)
その他	0.15	0.49	0.17
合計税額 (a)	23.95	12.58	20.90

(a) この税金調整表は、親会社、連結子会社、及び部分的に連結しているユニットからなります。持分会計適用会社によるリオティントグループのシェアは、5.69億ドルでした。(2007年6月末：4.78億ドル、2007年12月末：9.17億ドル)

買収について

2007年10月23日にリオティントグループは、Alcanの株式を79.42%取得し、経営支配権を獲得いたしました。残りの20.58%は2007年11月14日に取得しました。Alcan買収の合計価格は387億ドルとなり、385億ドルが現金、2億ドルが社債によってまかなわれました。2007年に暫定時価評価額が決定されました。この暫定時価評価額は、現状見直しされており、買収から12ヶ月後の2008年10月23日に最終確定します。時価評価額について、6ヶ月経過後の2008年6月末時点では重要な修正事項はないので、前期についても再表示されません。

豪ドル、英ポンド、米ドルによる財務データの要約

08年上 億豪\$	07年上 億豪\$	08年上 億£	07年上 億£		08年上 億米\$	07年上 億米\$	07年末 億米\$
326.14	171.98	152.31	70.71	総売上高	300.05	139.30	335.18
295.57	148.83	138.03	61.19	連結売上高	271.92	120.55	297.00
105.28	57.52	49.17	23.65	税引前利益	96.86	46.59	98.36
79.25	41.99	37.01	17.26	当期純利益	72.91	34.01	77.46
75.15	40.16	35.10	16.51	リオティント株主帰属分の当期純利益	69.14	32.53	73.12
59.50	43.57	27.79	17.91	根元的当期純利益 (a)	54.74	35.29	74.43
585.6c	310.2c	273.5p	127.6p	普通株式1株当たり純利益	538.7c	251.3c	568.7c
463.6c	336.5c	216.5p	138.4p	普通株式1株当たり根元的当期純利益 (a)	426.5c	272.6c	578.9c
				リオティント株主に対する1株当たりの配当金			
93.02c	82.84c	43.13p	32.63p	- 支払配当額	84.0c	64.0c	116.0c
77.35c	60.69c	36.25p	25.59p	- 配当案 (特別配当金を含む)	68.0c	52.0c	84.0c
44.48	22.95	20.77	9.44	財務活動前のキャッシュ・フロー	40.92	18.59	(342.51)
(438.79)	(33.67)	(211.68)	(14.31)	純借入金	(421.24)	(28.62)	(451.52)
330.42	242.72	159.40	103.16	リオティント株主に帰属する持分	317.20	206.31	247.72

(a) 根元的当期純利益は27ページに記載されている項目が、14.40億ドル(2007年6月末：-2.76億ドル、2007年12月末：-1.31億ドル)除外されています。

(b) 上図の財務データは、22-30ページに記載された主要な財務諸表から抜き出したものです。豪州ドル及び英ポンドは米ドルに基づき計算されたもので、平均レートや期末レートを用いて適切に換算されていますが、配当金については、実際の支払額、支払予定額が記載されています。

メタル価格と為替相場の推移		2008年 6月末	2007年 6月末	変動比	2007年 12月末
メタル価格 — 期中平均					
銅	- 米セント/ ポンド	367c	307c	20%	324c
アルミ	- 米セント/ ポンド	128c	126c	2%	120c
金	- 米ドル/ トロイオンス	910	659	38%	691
モリブデン	- 米ドル/ ポンド	34	28	21%	30
対米ドルの平均為替相場					
英ポンド		1.97	1.97	0%	2.00
豪ドル		0.92	0.81	14%	0.84
カナダドル		0.99	0.88	13%	0.93
ユーロ		1.53	1.33	15%	1.37
南アフリカランド		0.13	0.14	-7%	0.14
対米ドルの期末為替相場					
英ポンド		1.99	2.00	-1%	1.99
豪ドル		0.96	0.85	13%	0.88
カナダドル		0.99	0.95	4%	1.01
ユーロ		1.58	1.34	17%	1.47
南アフリカランド		0.13	0.14	-7%	0.15

当レポートの入手先

当レポートは、リオティントのホームページからダウンロードできます。